

はじめに



熊谷市長 富岡 清

日本は、世界でも有数の地震の多発国であり、平成7年の阪神・淡路大震災をはじめ、平成19年には新潟県中越沖地震、さらに平成23年には東日本大震災が発生し、甚大な被害を受けてきました。このような大地震が熊谷市でいつ起きても不思議ではありません。

また、平成25年9月には台風第18号にともなう竜巻が発生し、熊谷市に大きな被害をもたらしました。さらに荒川、利根川という二大河川が流れていることから、台風や集中豪雨による風水害にも注意を払っていく必要があります。

熊谷市では、このような地震や風水害などの災害に対する取り組みを進めていますが、いつ発生するかわからない災害による被害を最小限に食い止めるためには、市民の皆さん一人ひとりが「自らの命は自らが守る」、さらに「自分たちの地域は自分たちが守る」という防災意識を持ち、日頃から災害に備えて実践していただくことが大変重要となります。

このたび作成しました『熊谷市防災ハザードマップ』は、洪水ハザードマップ、揺れやすさマップ、地域の危険度マップ、液状化危険度マップ及び風水害や地震に関する防災知識のページで構成されています。

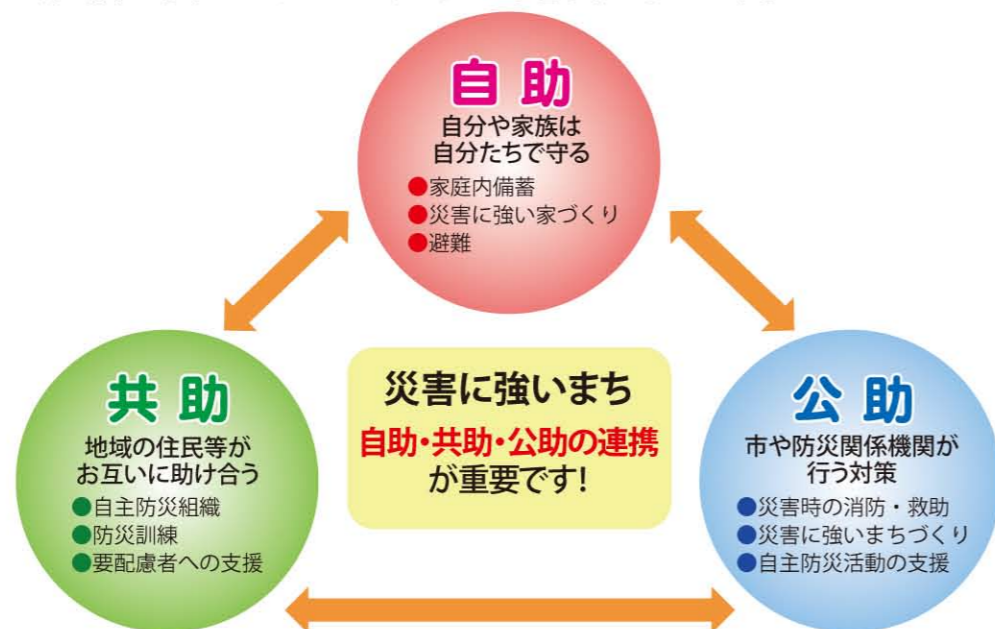
万一の災害の発生に備え、ご家庭や地域での防災活動にご活用いただければ幸いです。

災害を乗り越えるためには～自助・共助・公助の連携～

洪水や地震等の災害の発生を防ぐことはできませんが、自助・共助・公助が連携することで、被害を減らすことができます。

特に、大規模な災害が発生した場合は、直後から様々な活動が必要となり、これらの対策を行政による「公助」のみで行うことは困難です。

このような状況の中で、被害を軽減し、災害を乗り越えるためには、自分の身は自分で守る「自助」、地域でお互いに助け合う「共助」と、行政による「公助」がそれぞれの役割を分担し、連携して災害対策を行うことが、災害に強いまちをつくるうえで必要となります。



目次

洪水ハザードマップについて	1	
熊谷市で想定される浸水	2	
荒川 洪水ハザードマップ	(エリア1)	3・4
	(エリア2)	5・6
	(エリア3)	7・8
	(エリア4)	9・10
	(エリア5)	11・12
利根川 洪水ハザードマップ	(エリア1)	13・14
	(エリア2)	15・16
	(エリア3)	17・18
	(エリア4)	19・20
	(エリア5)	21・22
小山川・福川・石田川・蛇川洪水ハザードマップ(熊谷市全域)	23・24	
避難に際して	25	
風水害対策	26	
土砂災害について	27	
気象に関する情報について	27	
竜巻、雷対策	28	
地震発生の仕組み	29	
地域の危険度マップについて	30	
揺れやすさマップ(熊谷市全域)	31	
液状化危険度マップ(熊谷市全域)	32	
地域の 危険度マップ	(エリア1)	33・34
	(エリア2)	35・36
	(エリア3)	37・38
	(エリア4)	39・40
	(エリア5)	41・42
地震発生時の行動の目安	43	
地震対策	44	
災害時避難場所	45～52	
防災関係機関一覧	52	
災害に備える	53	
正確な情報を集めよう	54	
家庭内備蓄のススメ	55	
みんなの町は、みんなで守る	56	
自主防災組織に参加しよう	56	
わが家の防災メモ	裏表紙	

風水害

地震

自助・共助